

TaKeFu

SSH NEWS



福井県立武生高等学校
SSH 研究推進部
2023年8月21日発行

SSH NEWS No.12

12 プロジェクト∞無限大 (Project∞Infinity) 第2報

6月28日 OECD Education 2030「プロジェクト∞無限大」の準備会議がオンラインで開催されました。本校室井先生とエストニアの教育機関 Pelgulinna Gümnaasium の先生、そしてエストニアの研究者も参加して、顔合わせ会を行いました。これまで武生高校の生徒が取り組んできた研究テーマ「ジェンダーギャップの解消」に対して、海外の研究者や先生方からご意見をいただき、探究内容をより深化・具体化していきました。海外と繋がり、多様なバックグラウンドを持つ方々と1つのテーマについて追究していけることが、国際共創の醍醐味だと会議を通じて強く実感しました。これからの活動を通して、協定校であるエストニアやイギリスとの距離がさらに縮まることが楽しみです！



7月19日 校内研修を開催し、エストニアの協定校との準備会議について共有し、今後の活動方針について確認しました。ジェンダーギャップの複合的な要因を協定校毎に調査し、来年秋の最終発表までに成果物を作成することを当面の目標にしました。後半の研修では、ジェンダーギャップを生み出す要因は、「教材(教育環境)」「教員・先生の意識」「保護者の意識」にあると仮説をたて、ジェンダーギャップを生み出す要因について具体的な事例を考えていきました。出てきた意見をいくつか抜粋します。

【教材(教育環境)】

- ・男子は外で遊ぶ。女子は屋内で遊ぶ。
- ・男子はミニカーで遊ぶことで、車などに興味を持ち、理系を選びやすい。
女子は人形やおままごとで遊ぶが、これらの遊びは理系の選択には影響しない。
- ・おもちゃコーナーが男子用と女子用に分かれている。
- ・絵本や教科書のイラストでは、医者に男性が多く、看護師に女性が多い。

【教員・先生の意識】

- ・教室の座席が男女必ず隣になるように固定された。
- ・教科ごとに先生の性別が偏る。数学は男性、国語は女性の先生が多い。
- ・保育園の先生が男女によって違う遊びを勧める。
- ・無意識にレッテルを貼っている。

(例)女子を褒める時は「かわいいね」、男子を褒める時は「かっこいいね」という言葉を使いがちである。

【保護者の意識】

- ・ランドセルの色の選び方について、男子は黒系統、女子は赤やピンクが多い。
- ・「男の子なんだからしっかりしなさい」などの言葉が内面化される。
- ・女子には「女子らしく」、男子には「男子らしく」振る舞ってほしいという考えがある。
- ・女子が理系に進むことを前提にせず進路の話しをされる。
- ・子どもに読ませる昔話や物語では、女子は守られるべきものであるという表現が多い。